

第5回 アフターコロナ

新型コロナ感染症社会と Hygge(ヒュッゲ)な空間 no.5

アフターコロナ

前回(no.4)お伝えした情報として、「**感染経路の間違い**」をお伝えしましたが、このことは勿論感染経路が空気感染ではなく、「3密(**密閉・密集・密接**)を避ける」ではなく、**新型コロナ感染者の接触した物から感染する**ということですから、その対策方法もこれからのアフターコロナ(第一時期感染時以後)では、この感染経路できるだけ避ける対応を考えなければならないこと、感染してから発病後軽症で抗体をもつことが最も重要であるといわれています。

前々回(no.3)でお伝えした「黒岩成治医師の言うておられる**免疫力強化による対応**」が新型コロナのみならず、感染症対応にもっとも有効手段になることは明らかだと思います。

[「黒岩成治医師 免疫力とビタミンDの重要な関係が明らかに」](#)

https://blog.goo.ne.jp/eirakuin_rika/e/4775cd7a33f724f09cbcef99ca58158a



[「黒岩成治医師 冬のコロナ対策」](#)

https://www.youtube.com/watch?v=w_RsfMYprC8&feature=youtu.be

そして、Hygge(ヒュッゲ)な空間を提案する最も重要な理由として、「居心地がいい空間」時間・生活・暮らし



によって免疫力強化でき、感染症対応のみならず、本来あるべき幸福感を何気のない平穏な日々に悠久な時に身をゆだねる。

しばらく忘れがちになっていたゆったりと暮らし「スローライフ」や「足るを知る」という価値観に気付かせられたこの度の新型コロナ騒動であったと思います。

ワクチンや社会免疫を待つことなく、これまでの生活とは考え方を替え、社会経済活動の再開と免疫力強化を武器に新型コロナの第2・第3に備えましょう。

次回からは、各業種用途(病院・老健・飲食・ホテル・店舗・物販・住宅等々)ごとに感染症対応のためのアイデア・工夫を提案していきたいと思っています。